



# ドクター中野の星のおはなし

発行: 社会福祉法人 双葉会  
 介護老人福祉施設 琴清苑  
 編集: 広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099  
 TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706  
 URL <http://www.futabakai.or.jp>

## ドクター中野の星のおはなし No.33

### 皆既日食

もう1年も前だったと思うが、NHKプロモーションと読売旅行で2009年7月22日、今世紀最大の皆既日食が見られること、日本で見られるものとしては10年に1度といわれ極めて珍しい現象であること、この皆既はインドの西から中国・上海・トカラ列島などを経てキリバス諸島の東の太平洋上まで続く。

皆既の見学には船を使い船名は「ばしふいっく、びいなす」の名を持つ日本船で(2万6000トン)代表的な日本の天文学者の先生方が7名同行していただき講義もしてくださり、普通の皆既日食ならば7月22日を例にすれば予めその日の皆既の日時を図上に示し置き、ここに人が集まり見学しやすくするのが普通であるが、船では22日の皆既の当日皆既が見られるところまで晴天域を探し観測に間に合わせるよう運行を配慮したということで、天文学の諸先生も現地の雲の出現予報気を使われたことと思う。

晴天を100%予測するのは現在の天気予報の技術では困難だといわれている。また雨などで皆既不能の場合は会費の返還は無理だと印刷されている。こうして予定通り、私の場合は皆既時間8分以上に及ぶ肉眼観測は終わったが他の国とか島などでの観測で失敗に終わったところがあると聞いて心配する。

(詳細な情報は次回に)

こうして船で予定していた観測のすべては完全に終わった。



